

市内中小企業の新たな発展モデルの構築を目指す交流会

DX・
～ごはんの会～
(5班)
デジタル化推進

令和3年11月12日(水)
SKIPシティ ビジュアルプラザ 映像ホール

1. テーマ選定の理由


現状・問題・課題

1-1 現状と問題

【現 状】

- ・慢性的な人材不足

【問 題】(現状に対する問題点)

- ・川口市に住み続ける人は多いが、都内に働き手が流れてしまう。
 - ・川口市内に住む学生の就職先が市外になってしまう。
 - ・潜在的な人材の把握ができていない。
(専門職等の有資格者等、技術者、主婦、学生、シニア、障害者等の労働予備軍の把握)
- 

1-2 課題とテーマ選定について

【課題】(問題を解決するためにやるべきこと)

企業と人材(潜在的な労働者予備軍)が結びつき、効率的な労働力の確保となる仕組みづくりが必要。



**人材確保のためのDX活用フォーラムの構築
～中小企業の課題解決のために市と繋がるDX～**

2. 交流会における取組み

2. 交流会における取組み内容

1

DXを活用し、労働力を確保するためにどのような取組みをしていくか。

2

潜在的な労働力に対する施策の検討。

3. 交流会で検討した方策

3. 交流会で検討した方策

○人材マッチングプラットフォームの構築

- 潜在的な労働力と企業を結びつけるプラットフォーム
作ることで、市内企業の慢性的な人材不足を解消し、
市内企業への定着率を向上させる。
- 多様な働き方に対応できるような、仕組みをDXを活用
して取り組んでいく。

①「(仮称)川口市健康経営認定企業」 としての認定を受ける

☆市が認定している企業だから、働く側が安心して働ける☆

- ・地域貢献事業者認定制度を受けた事業者が受けることができる。
- ・川口市が経営・就労環境等に問題がない(=健康経営)と判断した事業所を「(仮称)川口市健康経営認定企業」として認定する。

【財務部分】

金融機関と協力し、財務確認書を発行してもらう。

(経営的に問題ないと証明)

【就労環境】

市が独自の審査を行う。

認 定

- 人材マッチングプラットフォームへの登録が可能
- 広報PR動画(3~5分)の製作

②川口市人材マッチングプラットフォーム

DXを活用して、認定企業と就職希望者をマッチング

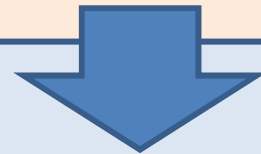
※主なターゲットは??

- ・市内在住、市外勤務の方※都内での就職者を呼び戻す
市内に住んでいるため、市内での勤務に利点がある。
ex>通勤先が近くなるため、ワークライフバランスがとりやすい。
- ・学生※今後の川口市の未来を担う存在
これから就職を控えている、第二新卒者。
- ・潜在的な人材※働きたいけれど働けない理由がある
専門職等の有資格者、技術者、主婦、シニア、障害者、外国人 等々

②川口市人材マッチングプラットフォーム

(例) < **学生**が利用するメリット >

- 市が認定した企業が登録されているため、就職希望者も安心して利用できる。
- 学校へも情報提供し、生徒へ市内企業を斡旋してもらう。
- インターン募集や工場見学会等の周知ができる。
- 学生へのアルバイト募集も可。(アルバイトから就職に繋がる可能性あり)
- 支援金の支給**



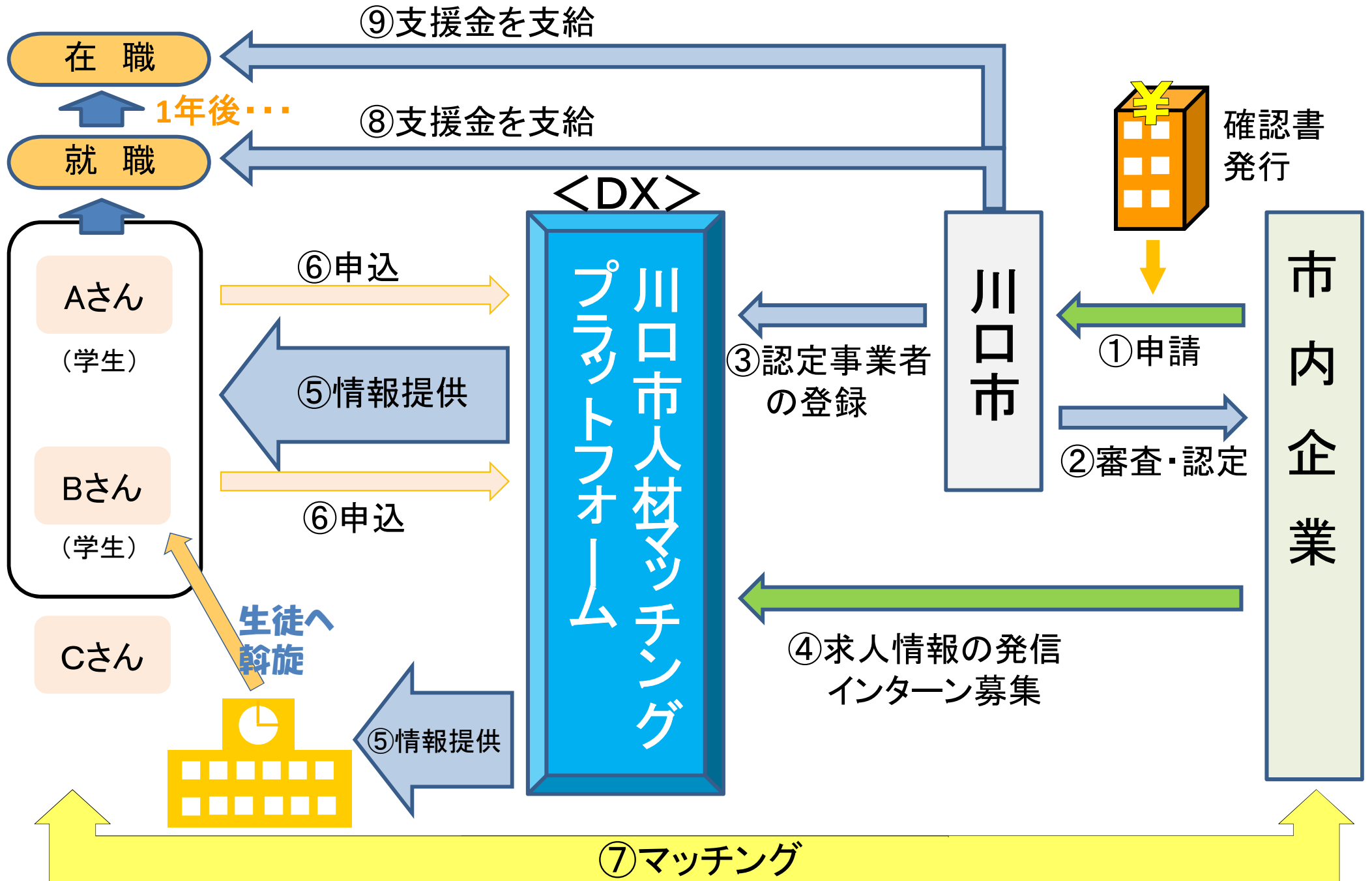
プラットフォームを通じてマッチングし、市内企業に就職した「学生」へ支援金(お祝い金)を支給する。

・支給時期

【入社時】と【入社から1年経過した時】の2回に分け支給。

→離職を軽減と定着。

人材マッチング【川口モデル】



4. 今後の展開

4-1 今後の展開

【プラットフォームの体制整備】

- 事業者の認定要件、審査基準作り
- 学生だけでなく、市外からの転職者や、潜在的な労働者に対してもメリットのある施策を策定する。
- 潜在的労働者の働けない要因を改善するための施策。
- 働き方の多様化に対応するため、企業間レンタルによる人材の有効活用の検討。

4-2 行政への提案

【今後、行政課題の解決するDX・デジタル化を展開していくために必要な支援策】

- ・プラットフォームの仕組みづくり。
- ・(仮称)川口市健康経営認定企業案 を進める。
- ・市内企業に就職した個人が、補助金をもらえるような仕組みづくり。
- ・働きたいけれど働けない潜在的人材の足かせになっている部分の解消。(介護、子育て、障害など)